

第5学年「外国語」学習指導案

授業者 濱 雪乃

2月15日（土） 2階プレイルーム 10：00～10：40（話し合い11：00～11：45）

1 単元名 Let's Travel the World!

2 単元について

当学年の子どもたちは、2学期に12カ国からの留学生と交流し、それぞれの言語や文化について知ったり、ともに世界の課題について考えたりした。本単元では、そうした経験もふまえながら改めて世界について考えるとともに、自分自身と世界をつなげ、将来行ってみたいところや体験したいことについて考えをもつ。そして、こうした思いを世界共通語としての英語で伝えることに挑戦する。

まずは、これまで教室の中で話題に挙がった国やニュースなどで触れている国などをGoogle Earthやライブカメラなどを通してバーチャル旅行しながら、Let's go to ...! や We can visitなどといった英語表現に慣れ親しむ。次に、留学生との3回目の交流会で聞いた留学生の出身国の魅力について、互いに情報を共有する。その際には、上記の英語表現を基本として用い、魅力が伝わるようにグループごとに工夫することに挑戦させたい。また、その国でのあいさつや自己紹介の仕方など、交流会を通して学んだそれぞれの国の言語の紹介も期待したい。こうした紹介には、ガイドブックやインターネットサイトなどだけでは出合わないようなものもあるだろう。その後、最終的には一人ひとりが訪れてみたい国を一つ決め、そこでしてみたいことを英語で伝え合う。

中には、外国に出ることについて消極的な子どももいるだろう。そのような場合には、自身を外国に置くことを強要するのではなく、留学生の国紹介で興味をもったものについて思いを表現したり、バーチャル体験として考えることを促したりしたい。

なお、本単元で使用する英語表現は、Blue Sky elementary 5（啓林館）のUnit 8 “Let's go to Singapore.”に対応している。

3 学習指導計画（5時間目／全9時間）

第1次 世界の様々な場所をバーチャル旅行し、できることを表す英語表現に慣れ親しむ。…2時間

第2次 交流した留学生の国について、英語で紹介する。…本時3／4時間

第3次 自分が訪れてみたい国について英語で伝え合う。…3時間

4 本時の学習について

（1）本時のねらい

グループごと、留学生の国の魅力が伝わるように工夫しながら英語表現を使って紹介する。また、紹介を聞きそれぞれの国でできることを理解した上で、特に魅力を感じた国を選ぶ。

（2）予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1. バーチャル旅行をしながら、できることを表す英語表現を確認する。 Let's go to ... ! We can visit /see /eat /enjoy /buy ... など 2. グループごと、紹介に向けた練習をする。 3. 交流した留学生の国について紹介する。	・Google Earth やライブカメラを使い、世界をよりリアルに感じられるようにする。 ・魅力の伝わる表現の工夫について、全体で確認してから行う。 ・二部制で行い、全員が話し手と聴き手の両方になれるようにする。

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

世界をリアルに感じながら言語を学習することの効果や可能性、課題について。